

平成16年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	40	学校名	県立大洗高等学校				課程	全日制				学校長名	黒澤 隆				
教頭名	河野 精三								事務(室)長名				川又 真				
教職員数	教諭	23	養護教諭	1	常勤講師	9	非常勤講師	0	実習教諭, 実習講師, 実習助手		2	事務職員	2	技術職員等	2	計	39
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数					
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
	普通科	49	57	55	37	57	60			161	154	12					

2 目指す学校像

基本的な生活習慣を身につけ、規律ある主体的行動を確立し、社会人としての必要な知識と規範意識に富む、心身共に健やかな人間の育成に努める。また、大洗町に唯一の県立高校として地域との連携を深め、「地域に開かれた学校づくり」を推進し、活力ある学校を目指して、教職員が一致協力した学校運営を行う。

3 現状分析と課題(数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	学習に対する意欲が乏しく、基礎的・基本的な学力を身につけていない生徒が多い。	指導方法の創意工夫及び改善に努め、一人一人の生徒の学習に対する興味・関心をいかに引き出す授業を展開できるか。
進路指導	就職希望者が半数を占めるが、進路に対する考えが希薄であり、希望する職種への就業も困難な状況である(卒業予定者の48.1%が就職希望、平成15年度11月30日現在の調査結果による)。	就職に必要な能力を高めるため、本校独自のジョブ・トレーニング(就業実習)を、計画的・組織的にいかに推進していくか。
生徒指導	服装・頭髪など以前に比べ規律の面での改善はみられたが、遅刻者が依然として多いのが現状である。(1日の平均遅刻者率：在籍者の5.7%、H15年度)	規律ある生活習慣を身につけさせ、規範意識をいかに確立させるか。また、遅刻者を減少させる具体的方策をいかに確立するか。
特別活動	部活動加入者が少ない中、マーチングバンド部・陸上部など成果を上げている部活動がある(部活動加入率：44.9%、H15年5月現在の調査結果による)。	部活動への生徒の加入を促し、活力ある学校づくりをどのように推進するか。

4 中期的目標

- 基礎的・基本的な学力を定着させるため、各教科とも学習内容を精選するとともに、教科指導に関する研修を充実させる。
- 就職希望者の進路希望を実現させるために、職場開拓やジョブ・トレーニング(就業実習)を実施し、生徒の能力を向上させる。また、年々増加する進学希望者にもガイダンス等を行い、きめ細かな進路指導を行う。
- 生徒一人一人の規範意識を高め、生徒のマナーの向上に全職員で取り組む。また、欠席者や遅刻者を減少させ、規律ある学校生活を送ることの出来る学校の体制づくりに努める。
- 生徒の特性を引き出し、生き生きとした学校生活を送ることが出来るように、部活動の活性化と生徒会活動や文化祭・クラスマッチなどの学校行事の充実を図る。

5 年次ごとの目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次 (平成16年度)	基礎的・基本的な学力の定着を図る。	学習内容を精選した授業を展開し、基本事項についてプリント等を利用し繰り返し指導するなどして、生徒の基礎学力を向上させる。	
	生徒それぞれの自己実現のための、計画的な進路指導を実施する。	生徒の進路意識を高めるための講演会やガイダンスを積極的に実施するとともに、課外やジョブ・トレーニング(就業実習)を通して、生徒の能力及びマナーを向上させる。	
	規範意識の確立と規律ある学校生活を送ることが出来る環境の整備を目指す。	高校生として必要なマナーを身につけさせる指導を全職員で行うとともに、HR 指導資料を活用し、生徒が自主的に HR 活動を行えるように指導していく。	
	部活動のより一層の活発化を目指す。	部活動への加入者及び日々の部活動への参加者を増加させることにより、「活力ある学校づくり」を目指す。	
2年次 (平成17年度)	基礎的・基本的な学力の一層の定着と情操面での充実を図る。	一般常識を含めた学力を幅広く身につけることが出来るように、各教科で副教材を精選するとともに、長期休業中に不振者課外及び発展的な内容の課外を実施する。	
	生徒一人一人が、自らの進路希望を早期に明確化できるように指導する。	職種・職業や大学の学部・学科についての情報を早期に提供し、生徒一人一人が自らの進路を自覚的に決定することが出来るように、個人面談やガイダンスを計画的に実施する。	
	生徒が規律ある、自律的な生活を送ることが出来るように、学校全体で、基本的生活習慣の確立のための指導に取り組む。	服装・頭髪・遅刻指導や校内巡視、奉仕活動・清美活動などを計画的に行い、規律ある学校生活のための雰囲気作りや環境整備に取り組む。	
	部活動のより一層の拡大・充実を図る。	部活動加入者を増加させるとともに、運動部・文化部の数を増やし、学校生活の活性化を図る。	
3年次 (平成18年度)	基礎的・基本的な学力の定着のために、生徒が目標を持って、意欲的に学ぶ態度を涵養する。	漢検・英検・数検などの各種検定試験を積極的に受験させるとともに、各教科で計画的に課題を与え、家庭学習の習慣化を図るなど、生徒一人一人が目標を持って学習することが出来るように指導していく。	
	生徒一人一人の個性や志向性を踏まえた適切な進路決定のための指導を行う。	就職や進学を見据えたより発展的・専門的なガイダンスや進路説明会を実施し、会社訪問や職場見学なども積極的に推進する。	
	生徒が規律ある、自律的な生活を送るとともに、より意欲的に学校行事に参加できるように指導する。	挨拶の励行やマナー講習会を実施するなどして、生徒に社会性を獲得させるとともに、ボランティア活動、清掃・奉仕活動などを計画的に実施し、生徒を積極的に参画させる。	
	生徒が自主的に参加できる学校行事及び部活動の充実を図る。	部活動の拡大・充実をめざすとともに、文化祭やクラスマッチの企画・運営に生徒が参画できるように、委員会活動を活性化させる。	